

新潟県小千谷市

世界一

火下玉

片貝まつり

三尺玉発祥の地



片貝まつり

9月9日・10日開催

片貝の人達は、日本中のお客様を心温かく迎える。
狭い町だけれど片寄せ合って楽しむところです。
片貝まつりの主な行事を紹介します。



三尺五寸筒
三尺五寸煙火筒

世界一
四尺五寸煙火筒

機の大五
三尺三寸五煙火筒

二尺五

尺五

七寸
五寸
四寸

片貝町大鼓

片貝

●400余年の伝統を支え続けてきた

「浅原神社」

この浅原神社は、地域の鎮守様として通称「いちょさま」と呼ばれ、親しまれています。片貝まつりはこのいちょさまの秋季例大祭であり、住民すべての祈りと願いがここに集結する神社なのです。



●花火の玉を神社に奉納する

「玉送り」

成人を迎えた人や厄年の人が参加し、にぎやかに町内を練り歩きながら浅原神社へ花火の玉を奉納する「玉送り」は、9日・10日の両日行われます。

何と言つても色とりどりに飾られた屋台と人々の熱気が祭りを盛り上げ、全員参加ならではの迫力で町を包みます。



●花火打ち揚げの成功と無事を祈る

「筒引き」

約100人の若者が参加するこの「筒引き」は、古式にのっとり二本の太綱に引かれた花火の筒が、町内の目抜き通りを練り歩きます。

前方の木製の大きな筒は、昔これでは花火を打ち揚げていた歴代物の筒。普段は神社の一角に祭られています。この日はやはり住民とともに大活躍します。



「祭り屋台」



●世界で唯一の

「真昼の三尺玉」

花火といえは夜が当たり前と思つてはいけません。片貝では10日に三尺玉が真昼に打ち揚げられます。

三尺玉が空中で爆発された際、煙に色がついており、真昼でもきれいな花火が見られるというわけ。真昼の三尺玉が見られるのは世界でただひとつ、ここ片貝だけ。

「花火太鼓」



●花火職人の魂を打ち揚げる

「花火筒」

重さ420kgの四尺玉を地上約800mの高さまで打ち揚げる、高さ5.0m、厚さ2.4cmの鋼鉄製の筒。クレーンで慎重に筒の中に入れていく。あとは今宵を待つのみ。



昇天銀竜黄金すだれ小割浮模様

●一瞬にして人々の心をとらえる
「世界一の四尺玉」

世界大きいと言われる
四尺玉を打ち揚げる片
貝まつりの花火大会（小
千谷市片貝町）は、9月
9日・10日の2日間にあ
たって開催されます。
片貝の花火は地元の浅
原神社秋季例大祭が始
まりで、江戸時代からの
歴史があり、明治24年
には三尺玉を4発も打ち
揚げたことから「三尺玉
発祥の地」と言われてい
ます。

花火は余韻を楽しむという

片貝の鎮守の杜の夜空に轟く
祈りの花火に酔いしれる

ひとびとの

思いや願いを込めて…

世界一の大花火が





COCOAR

検索

古くから、子供の誕生や還暦厄払いなどにちなんで、町の人々が神社に花火を奉納する習慣があり、その花火が夜空を彩っているのです。また、奉納された花火とともに奉納者名や願いを込めたコメントが、番附表に記載されるため、その年の町の人々の冠婚葬祭など暮らしの端がわかります。

花火の一瞬の輝きの中には多くの人々の願いや結びつきが込められているのです。

スマートフォンやタブレットで動画をご覧いただくことができます。

「COCOAR」アプリを無料インストールし、全体をかざしてください。
(読み込みが悪い場合は、表紙全体をかざしてください。)

大正花火

世界一の打ち上げ花火の夜空を
片貝がします。

人生の折り目・節目に、
ふるさと片貝に集い、花火を揚げる
結婚・誕生・家内安全・健康祈願・祝成人・三十三才・
四十二才厄払い・五十才・還暦・古稀・追善供養など

昇天銀竜黄金千輪二段咲き



片貝まつり花火を 100倍楽しもう

片貝まつり浅原神社秋季例大祭

奉納大煙火

小千谷市片貝町は花火と職人の町。毎年9月9・10日に開催される浅原神社秋季例大祭は、400年もの伝統を誇る祭りです。

この祭りの呼び物と言えは世界の四尺玉花火で、人口5千人に満たない小さな町がこの日はかりは、一気に20万人もの人々にぎわいます。

■越後片貝浅原神社と奉納煙火のあゆみ

慶長5年 煙火を献る

安政5年 浅原神社社殿改築。大花火奉納。

明治24年 三尺玉4発打ち揚げる。9日夜3発、10日昼1発。
(三尺玉発祥の地となる)

昭和25年 本年より成人による大仕掛花火の奉納始まる。

昭和28年 (成人) 和風級友会
成人大仕掛大スターマインの他に同級会の奉納煙火始まる。(永和同級会)

昭和37年 奉納煙火取締本部を越後片貝青年煙火協会改め

片貝町煙火協会を設立する。

昭和44年 三尺玉78年振り打ち揚げる。(成人 とない)

越後三大花火

「花火王国」と言われている新潟県では夏になると毎日のようにどこかで花火が揚がる程、花火大会が盛んに行われています。

その中でも、越後三大花火大会と言われる花火大会があります。それが海の柏崎、川の長岡そして山の片貝です。

片貝まつりの花火は 反響音がすごい

花火打ち揚げ場所の後ろが小高い山、その山が屏風状となつてることから、音が反射して豪快な反響音を楽しむ事ができます。

片貝まつりの花火は 尺玉花火が中心

花火番附の7〜8割が尺玉花火となります。

尺玉2段打、5段打、10段打などの連発花火が多く打ち揚げられます。

二尺玉、三尺玉は数発、世界一四尺玉は兩日の午後10時に打ち揚げられます。

- 9日昇天銀竜黄金すだれ小割浮模様
- 10日昇天銀竜黄金千輪二段吹き



ぎおん 柏崎まつり 海中空(かいちゆうくう)スターマイン



長岡まつり フェニックス



片貝まつり 四尺玉



屋台番附

これだけは知っておきたい 花火の種類

「割物」、「ボカ物」、「型物」、「仕掛け花火」の4種類です



芯入り菊／ヤシ／トラの尾 など

■割物

「割物」は代表的な打ち揚げ花火で、破裂したときに星が球状に飛散するものである。中でも星が菊の花のように尾を引いて広がるものを「菊物」、尾を引かないものを牡丹に喩えて「ボタン物」とよぶ。また、二重の球状に広がるものを「芯物」という。

割物・芯入り菊／割物・芯入り銀冠菊／
割物・牡丹／半割物・錦冠菊 など

■ボカ物

「ボカ物」は星が飛散しないもの。玉がボカッと2つに割れて星や細工を放出。「柳」のほか、多数のパイプ星が回転しながら飛び出し、プーと高音でうなりながらランダムに飛び回る「蜂」などが有名。

柳／蜂／ヤシ／トラの尾 など

■型物

花火で図形や文字などを描き出す。ちょうちょやハートマーク、スマイルマークなどが有名。最近ではアニメのキャラクターも。

土星／ちょうちょ／ハート／スター／スマイル など

■仕掛け花火

ナイアガラやスターメインなど、複数の花火を利用するなど作作的に仕掛けを施した花火。

ナイアガラ／スターメイン／粹仕掛け／海中花火 など



昭和55年 真昼三尺玉打ち揚げる。(永遠会)
昭和57年 三尺三寸玉打ち揚げる。(33才 永遠会)
昭和60年 世界一・四尺玉打ち揚げ成功する。(42才 明志会)
昭和61年 本年より毎年四尺玉2発打ち揚げる。
(泰納者 9日片貝煙火工業、10日十三鶴会)
昭和62年 四尺玉2発打ち揚げる。(泰納者 9日片貝町四尺玉打揚協賛会、10日三国コカコーラポトリング株)
平成11年 四尺玉打ち揚げ奉納者 9日片貝町民総参加、10日三国コカコーラポトリング株
平成12年 四尺玉打ち揚げ奉納者 9日片貝町民総参加、10日小千谷ライオンズクラブ有志
平成16年 伝統片貝祭り屋台45年振り復元完成。
平成17年 9月4日に町内を引き回して披露する。
平成26年 四尺玉打ち揚げ奉納者 9日花火王国かたかい、コポレーションチーム、10日祝成人片貝町民一同、団体ツアー参加一同による大スターメインの打ち揚げが始まる。

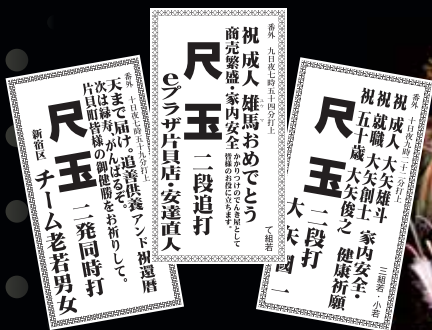
あなたも花火を 揚げませんか

浅原神社へ奉納する花火で、個人や企業が色々な想いを込めて花火を奉納します。地元その他、新潟県内、関東地区や関西・東北、九州等全国各地から花火を奉納する人たちが増えています。

子供の誕生祝、結婚祝、家内安全、健康祈願、社業発展、物故者追善供養等、想いを込めて花火を奉納します。(例えば、こんなコメント)祝〇〇誕生、みんなに愛されるカワイイ女の子になあれ)

想いを込めた花火一発毎に、コメントが放送されてから花火が打ち揚げられます。放送設備は、浅原神社周辺、町の中心部等に設置されます。

問い合わせ先：片貝町煙火協会



H28年花火番附より

■片貝花火の詳細

所在地	新潟県小千谷市片貝町
花火大会名称	浅原神社秋季例大祭奉納大煙火(片貝まつり)
開催日	毎年 9月9日～10日
順延予定	雨天でも打ち揚げ(台風等の悪天候は順延)
花火打ち揚げ予定数	15,000発(2日間)
四尺玉打ち揚げ	世界一の四尺玉、9日・10日両日も打ち揚げ
観覧場所	有料・棧敷席(予約)

■主な名産



小千谷そば

海藻のふりをつなぎに使いなめらかなのごしと、シコシコと歯ごたえのある食感が特徴の小千谷のへぎそばです。



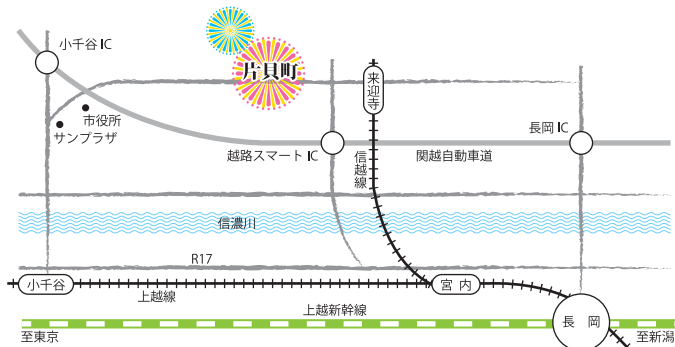
小千谷縮・紬

丹精込めて織り上げられた格調高い織物。麻や絹の風合いの良さが親しまれています。



錦鯉

錦鯉の里小千谷市の生産地では、雪国の清らかな水と伝統の技法で育てられた錦鯉が有名です。



■アクセス

JR小千谷駅から急行片貝経由長岡行バスで約20分
JR長岡駅から急行片貝経由小千谷行バスで約30分
関越高速道小千谷インターから片貝まで車で約10分
関越高速道長岡インターから片貝まで車で約20分
関越高速道長岡南越路スマートインターから片貝まで車で約10分

※長岡・越路方面からは午後になると片貝方面へは規制がかかり遠回りとなり、時間がかかります。
※お帰りは、長岡南越路スマートインターは、大渋滞が予想されますので、「長岡インター」のご利用をお願いします。

片貝町煙火協会

〒947-0101 新潟県小千谷市片貝町6532-5(浅原社協)片貝ふるさと会館内
TEL.0258-84-3900 FAX.0258-84-3902

製作：平成28年度新潟県小千谷市

著作：新潟県小千谷市

■小千谷の主な施設



サンプラザ

お土産、特産、観光など、小千谷の事ならずべて揃う、観光の拠点。織物体験や食事も楽しめます。市街地であり、広い駐車場があるので便利。



錦鯉の里

サンプラザに隣接し、自然石を配した見事な日本庭園で約40種の錦鯉を鑑賞できます。間近でえさを与えることもできます。



湯どころちぢみの里

道の駅にある温泉。大浴場・露天風呂・岩盤浴などその他充実した設備です。館内は、名物小千谷そばをはじめ、メニュー豊富な食堂があります。



そなえ館・楽集館

地震の防災意識を学ぶそなえ館では、中越地震の揺れを体験できるコーナーもあります。同じ館内には、市民の文化活動拠点として利用される楽集館があります。



『おぢゃ〜る』市民の家

宿泊、市民・地域間・都市交流の拠点として、また、水力発電のしくみ、山本山を通じた自然学習など、学習・交流観光拠点として活用していきます。